

情報メディア学科 選択課題一覧

課題1 (AI ツールによる画像生成)

AI による画像生成は手軽になり、様々なツールが利用可能です。比較的手軽に使えるものとして Google の Gemini Nano Banana、Microsoft の Copilot Designer、Adobe の Firefly などが挙げられます*。これらのような画像生成ができる何らかのツールの使い方を調べて、何かキャラクターを決めて画像を生成してみてください。ただし、キャラクターの名称を使わず、外見の各パーツの形や色の特徴を工夫して入力して生成してください。この課題の目的は、具体的な名称を使わずに外見の特徴のプロンプトだけで理想の画像を再現する難しさを体験することです。作成した画像と作成するために用いた文章を提出してください。また、できた画像に対する感想も付け加えてください。

※ 課題内で挙げた各サービスはアカウント登録(無料プランで可)が必要ですが、出題時から状況が変わることもありますので自分で調べてみましょう(あまりにも状況が変わってしまった場合には Web で提示する課題内容の説明を更新する予定です)

課題2 (データの可視化)

日経ビジュアルデータから「ふるさとクリック」とタイトルについて記事(たくさんあります)を見て実際に触って分かったことをまとめてください(解説記事がのっているものもありますが、そこに載っていないことを考えてみてください)。

<https://www.nikkei.com/topics/21121401>

どの記事を見たかもきちんと明記してください。

有料の記事が多いですが、無料の記事も探すといろいろと見つかります。例えば以下のような記事は現在無料で見られます。

<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/regional-regeneration/mynacard-grant-rate-map/>

「ふるさとクリック」以外にもいくつか無料の記事があります。それを見て考えてみても構いません。

<https://vdata.nikkei.com/>

例えば以下のような記事など、探すといろいろと無料の記事が見つかります。

<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/land-value-map/>

課題3 (YouTube のサムネイルデザイン)

あなたが好きな YouTube 動画を一つ選び、そのサムネイル(thumbnail)を丁寧に見て特徴を整理してください。そのうえで、選んだサムネイルと雰囲気や構成がよく似た別の動画(チャンネルの異なるもの)を探し、比較してみましょう。似ていると感じたポイントについては、できるだけ具体的に言語化してください。たとえば、文字の大きさや太さ、フォントの雰囲気、色使い、背景の処理の仕方、人物や物体、テキストの配置といった要素に注目すると、

構造的な違いや共通点が見えてきます。また、複数の例を挙げられる場合は、どのような共通パターンがあるのかもあわせて記述するとより深い考察になります。

参考として、サムネイル画像を取得する方法について紹介されているページを付記します。提出にあたってスクリーンショットを使用する場合などに役立ててください。

参考：YOUTUBE 動画のサムネイルを取得する方法 - Offise Kondo

<https://takayakondo.com/youtube-thumbnail-acquisition/>

発展課題（任意）

上で読み取ったサムネイルの特徴やパターンをもとに、別のテーマの動画用サムネイルを自分で作成し、提出してください。同じフォントが手に入らない場合には、近い雰囲気のものを選んで代用しても構いません。ただし、どの点を意識して作ったのか、簡単な説明（100～200字程度）を添えてください。

課題 4 (Web ページの配色)

あなたが日頃よく利用している Web ページを一つ選び、そのページがどのような配色で構成されているかを調べてみましょう。画像やアイコンなどに含まれる色は数えず、Web ページの背景色・文字色・ボタンやリンクの色など、デザインそのものに使われている色だけを数えてください。また、背景が白の場合は、白は使用色数に含めなくても構いません。

調査では、(1) その Web ページの URL、(2) 使われている色の数、(3) その配色から受ける印象や雰囲気（落ち着いて見える／軽やか／情報量が多く感じる 等）の三点を整理してまとめてください。たとえば、Yahoo! JAPAN のトップページ

（<https://www.yahoo.co.jp/>）では、主要な色はおよそ 4 色で構成されています（下図参照）。色が多いか少ないかで受ける印象は大きく変わるので、自身の選んだサイトと比較しながら考えると発見が深まります。



課題5 （身の回りのすごいもの）

身の回りのすごい（おもしろい、不思議）と思うモノや作品を探してみてください。テレビ、インターネット、遊園地、ショッピングモール、博物館、家の近所など、身の回りのものに注意を向けてみてください。すごいものについて、それが何かと、どこがどのようにすごいと思ったのかを説明してください。また、どのような技術を使って実現しているかをインターネットや書籍で調べてみてください。写真や図を使ってもかまいません。

課題6 （IoT家電について調べてみよう）

「モノのインターネット（Internet of Things: IoT）」とは、様々なモノ（物）がインターネット接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みです。

最近では、IoT家電と呼ばれるジャンルの商品が登場しており、たとえばインターネット経由で電子レンジがレシピをダウンロードできるなど、たくさん便利な製品が登場しています。

近所の家電屋さんやWebサイトの検索によってIoT家電について調査し、面白いと思ったものについてどのような機能をもった製品なのか、どのような便利な生活が実現するのかまとめてください。

写真や図などを使用してもかまいません。

課題7 （鑑賞レポート）

1月～3月に開催される企画展やコンサート、舞台作品などを鑑賞し、その展示内容や演目、興味を持った作品などについて、感想や自分なりに調べたことについてまとめてください。

情報メディア学科の音楽イベントとしては、2/27～2/28に札幌の北海道教育大学アーツ&スポーツ文化複合施設HUGで行われる「SonicItコンサート（平山研究室）」があります（詳細は後日こちらにお知らせします：<https://www.facebook.com/hiuhirayamalab>）。その他、鑑賞の対象は、自分の住んでいる地域で開催されているものや、春休み期間中に旅先で鑑賞した展示やコンサート、イベントなどでもよいです。

また、既に作成しているオリジナルの作品（映像、アニメーション、音楽など）があれば、提出してください（作品の提出は自由、必須ではありません）。

- ・YouTubeやVimeoなどにアップし、共有用URLをメールにて知らせてください。
- ・公開方法は限定公開としてください。
- ・作品の解説文（テーマやコンセプト、制作方法、制作時間）について、YouTubeやVimeoの概要欄に記入してください。

※ 映像作品については、TikTokやゲームプレイ中継動画は対象外とします。

課題8 （作家の研究）

あなたが興味のある分野の作家（映像クリエイター、アニメーション作家、作曲家、ミュー

ジシャン、アーティスト等) について、書籍や WEB サイトなどを使って調べ、その作家がどのような経歴でどのような努力によって評価を受けその分野で成功していったか、またその作品の特徴や魅力などについてまとめてください。写真や図などを使用してもかまいません。

また、既に作成しているオリジナルの作品(映像、アニメーション、音楽など)があれば、提出してください(作品の提出は自由、必須ではありません)

- ・ YouTube や Vimeo などにアップし、共有用 URL をメールにて知らせてください。
- ・ 公開方法は限定公開としてください。
- ・ 作品の解説文(テーマやコンセプト、制作方法、制作時間)について、YouTube や Vimeo の概要欄に記入してください。

※ 映像作品については、TikTok やゲームプレイ中継動画は対象外とします。

課題 9 (街のキャッチコピーを探す)

あなたの身の回りには、おもしろいキャッチコピーが溢れています。街に出て、普段何気なく歩いている道や駅、ショッピングモールなどにあるおもしろいキャッチコピーを探してみましょう。それはどんなものをどのようにアピールしていますか?どのようにおもしろいですか?説明してください。写真を撮って一緒に送ってくれると分かりやすいです。

課題 10 (イラスト制作)

テーマに沿ったオリジナルのイラスト作品を制作してください。

- テーマ:新しいはじまり
- データ形式:JPG もしくは PNG
- 画像サイズ:横幅 1000px × 縦幅 1000px 以上であれば自由
- 作品の解説文(テーマをどのように表現したか、制作方法、制作時間)も記載してください。

課題 11 (基礎学力トレーニング)

課題 1~10 に取り組むことが難しい場合は、基礎学力の確認と向上を目的とした HIU ドリルに取り組んでください。

ただし、HIU ドリルの取り組みにはアカウントの作成が必要となります。HIU ドリルでの学習を希望される方は、以下の方法でお申し込みください。アカウントの作成後、学習方法、アカウント情報等をメールに返信の形で連絡いたします。

申込方法:大学のメールアドレス宛(nyugaku@do-johodai.ac.jp)にメールで送ってください。

申込期限: **2026 年 1 月 30 日 (金) 17 時まで**

~メール作成例~

件名:HIUドリルでの学習希望

本文:受験番号〇〇〇〇〇〇 情報 太郎です。

選択課題①の HIUドリルでの学習を希望いたします。

よろしく願いいたします。